

令和4年度  
事業報告書

自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日

公益財団法人 大阪府国際交流財団

当財団は、大阪の国際競争力の強化を図り、大阪の国際化に寄与するため、「外国人の受入促進・活動環境の整備」、「国際交流情報の収集及び発信」、「グローバル人材の育成」に取り組んでおります。

令和4年度は、平成30年度からスタートした「OFIX中期経営計画」の最終年度(5年目)であり、重点項目として掲げた「外国人相談機能の強化」、「災害時の多言語支援強化」を中心に、それらを支える各種の事業に取り組むとともに、令和2年度中の見直しにより令和3年度からリスタートした中期経営計画の達成をめざし、各事業に取り組みました。

特に、在阪外国人の安全・安心を確保する事業については、令和元年度に充実・強化している「大阪府外国人情報コーナー」の体制・機能を引き続き維持し、新型コロナウイルス感染症に係る相談対応や、在留資格、生活支援に係るものなど、様々な相談に対応するとともに、ロシアの侵攻によるウクライナ避難民の支援策として、「ウクライナ避難民通訳支援人材バンク制度」を設け、「ウクライナ避難民ワンストップ相談窓口」を開設して対応するなど、目まぐるしく変化する環境の中で、情報提供機関として財団の役割を果たしてきました。

財政状況については、金融緩和の継続による低金利の影響を受け、資産運用収入が厳しい状況にありますが、安全性に配慮しながら財源確保に努めました。事業収支については、事業の選択と集中を進めるとともに、管理費の削減を徹底するなど、経営の健全化への取組みを進めました。

## I. 事業の実施

令和4年度事業計画に基づき、以下の事業を実施しました。

1	外国人の受入促進・活動環境の整備	4
(1)	大阪府外国人情報コーナーの運営	4
(2)	OFIXボランティア登録制度の運営	7
(3)	多言語情報提供の支援	8
(4)	やさしい日本語の普及	8
(5)	災害時外国人支援体制の確立	9
(6)	大阪府災害多言語ウェブサイト・アプリ「Osaka Safe Travels」の運営	10
(7)	大阪府堺留学生会館オリオン寮の運営・活用	10
2	国際交流情報の収集及び発信	11
(1)	OFIX広報促進事業	11
(2)	多文化共生連携センターの運営	11

(3) O F I Xホームページ・SNSの運営	11
(4) O F I Xニュースの発行	12
(5) 民間国際交流団体等の活動促進	12

3 グローバル人材の育成・活用	14
-----------------	----

(1) 国際理解教育の展開	14
---------------	----

## II. 財務基盤の強化

### 1. 事業の効率的な実施

資産の運用については、資産管理運用規程に則り基本財産を棄損することがないよう安全性に配慮しつつ効率的な運用に努めるとともに、管理コストの縮減に努めることなどにより、効果的・効率的な事業運営に努めました。

### 2. 賛助会費の確保

財団事業への参画と協力を得るため、賛助会員の募集を行い、会費の確保を図りました。

[令和4年度実績]

財団賛助会員		
法人会員（1口 5万円）	24社	54口
個人会員（1口 3千円）	21名	24口

・寄付金… 30,000円(1団体)

### Ⅲ. 事業報告

#### 1. 外国人の受入促進・活動環境の整備

##### (1) 大阪府外国人情報コーナーの運営

###### ① 外国人ワンストップ総合相談窓口の運営

府内外国人が生活・就労等に関する適切な情報に速やかに到達できるよう、国及び大阪府の補助金を受けて、情報提供・相談対応を行う一元的相談窓口「大阪府外国人情報コーナー」を電話又は面談により運営した。

なお、令和4年度も前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症に関し、コロナ患者受け入れ医療機関、PCR検査機関の情報提供、陽性登録、My SOS、ワクチン接種証明などをはじめ、労働・仕事、在留資格など様々な相談に数多く対応した。

対応言語 (13言語)	日本語、英語、韓国・朝鮮語、中国語、ポルトガル語、スペイン語、タイ語、ベトナム語、フィリピン語、インドネシア語、ネパール語、ロシア語、ウクライナ語
対応時間	(月・金曜日) 9時00分から20時00分まで (火・水・木曜日) 9時00分から17時30分まで (第2・第4日曜日) 13時00分から17時00分まで
相談件数	2,927件 (相談者数 2,648名)  〈別途専門相談〉 ※件数は内数 ・弁護士による専門相談開催数…6回(17件) ・行政書士による専門相談開催数…6回(14件) ・大阪出入国在留管理局との共催による専門相談開催数…12回(39件) ・大阪府労働環境課とオンラインで結んだ労働相談開催数…24回(26件)

###### ② 府内の市町村や国際化協会等との連携による地域相談会などの実施状況

###### (ア)外国人住民向け地域合同一日相談会

府内市町村における外国人相談窓口の設置を支援するため、大阪府内の自治体や国際交流協会が、府内の他の市町村などと連携して実施する相談会を共催し、行政書士や弁護士などの専門相談員やボランティア通訳者等を派遣した。

###### a) 「コロナ禍の外国人のための相談サービス」

実施日：令和4年7月23日(土) 13:00～16:00

場所：泉佐野市立社会福祉センター

共催：泉佐野地球交流協会・泉佐野社会福祉協議会

相談内容：在留資格、仕事、福祉、ワクチン接種、生活など

対応言語：英語、中国語、ポルトガル語、フィリピン語、ネパール語

相談者数：10名

相談件数：10件

b) 「弁護士による外国人のための1日相談サービス」

実施日：令和5年1月29日（日） 13：00～16：00

場所：吹田市国際交流協会

共催：吹田市国際交流協会・国際交流協会ネットワークおおさか

相談内容：法律、生活

対応言語：英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、ベトナム語、インドネシア語、ネパール語、ロシア語

相談者数：6名

相談件数：7件

c) 「合同専門相談会」

実施日：令和5年1月31日（火） 13：00～17：00

場所：梅田スカイビルタワーウエスト 22階会議室A

共催：大阪出入国在留管理局

相談内容：法律、生活

対応言語：英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語、タイ語、フィリピン語、ベトナム語、インドネシア語、ネパール語、ロシア語、ウクライナ語

相談者数：3名

相談件数：3件

d) 「外国人のための相談会」

実施日：令和5年2月25日（土） 11：00～14：00

場所：守口市役所1階 市民会議室 101～104号室

共催：守口市・四条畷市

相談内容：在留資格、保険・年金、労働、人権、教育、生活

対応言語：英語、中国語、ベトナム語、フィリピン語

相談者数：6名

相談件数：8件

e) 「外国人のための1日相談会」

実施日：令和5年3月19日（日） 13：00～16：00

場所：国際交流推進ルーム（ひらかたサンプラザ3号館5階）

共催：枚方市

相談内容：在留資格、社会保険、労働、生活

対応言語：英語、中国語、ベトナム語

相談者数：4名

相談件数：4件

(イ) 地域合同オンライン相談会

地域での相談会以外に、オンラインによる形式で合同オンライン相談会を大阪府内市町村、国際交流協会等と協力し実施した。

日付	詳細	協力自治体等	相談件数	相談人数
5月23日（月）	生活相談	堺市	1件	1人
7月24日（日）	法律相談	（公財）八尾市国際交流センター	1件	1人
7月27日（水）	入管相談	堺市、（公財）八尾市国際交流センター	2件	2人

9月5日(月)	労働相談	堺市	1件	1人
9月28日(水)	入管相談	堺市	1件	1人
11月27日(日)	法律相談	堺市	1件	1人
1月22日(日)	法律相談	(公財)八尾市国際交流センター	1件	1人
3月22日(水)	入管相談	枚方市、(公財)八尾市国際交流センター	2件	2人

### ③ 一日インフォメーションサービス事業

在住外国人と地域住民の共存共生に資するため、『外国人の住みやすい大阪』を「考える関係機関等連絡会議」の共同事業として、外国人を対象とした「1日インフォメーションサービス」を開催した。大阪府外国人情報コーナーとしては、「生活関連ブース」での相談を担当するとともに、通訳協力を行った。

主 催：「一日インフォメーションサービス」実行委員会

(「外国人の住みやすい大阪」を考える関係機関等連絡会議)

(構成：大阪法務局、大阪出入国在留管理局、大阪労働局、日本年金機構大手前年金事務所、全国健康保険協会大阪支部、大阪府、大阪府警察本部、大阪市、大阪弁護士会、大阪府行政書士会、大阪府医師会、大阪府歯科医師会、大阪府薬剤師会、大阪商工会議所、近畿税理士会、大阪府社会保険労務士会、日本学生支援機構大阪日本語教育センター、大阪市立男女共同参画センター子育て活動支援館、関西国際交流団体協議会、大阪府国際交流財団、大阪国際交流センター ※事務局は大阪国際交流センター)

対応言語：英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語、インドネシア語、タイ語、フィリピン語、ベトナム語、ネパール語、ロシア語、ウクライナ語

#### <第1回>

実施日：令和4年7月3日(日) 13:00~17:00

場 所：大阪国際交流センター

相談者数：42名

相談件数：77件

#### <第2回>

実施日：令和4年12月4日(日) 13:00~17:00

場 所：大阪国際交流センター

相談者数：27名

相談件数：54件

### ④ 多言語情報提供

[大阪生活必携・よくある生活質問集の充実]

- ・生活必携情報の更新

外国人のための生活ガイド「大阪生活必携」の情報を11言語で更新し、より便利で生活に役立つものとした。

- ・よくある生活質問集 (FAQ) の更新

交通関係4項目及び警察・犯罪関係5項目の情報を11言語で更新し、より充実させた。

## ⑤ 相談員・通訳者研修等

大阪府内の市町村等で外国人相談に携わる相談員・通訳者を対象に、よりよい相談サービスを提供するため、最新事情や各種制度等に関する知識の拡充・共有を目的とした研修を実施した。

### <第1回>

実施日：令和4年11月11日（金）

場 所：マイドームおおさか 8階 第6会議室

講 義：「相談員・通訳者の心構え」

（講師）兵庫県国際交流協会

外国人県民インフォメーションセンター スペイン語相談員

村松 紀子 氏

※講義に引き続き、ケーススタディ及びワークショップを実施

出席者数：14名

### <第2回>

実施日：令和5年1月27日（金）

形 式：オンライン

講 義：「通訳者の心構え」

（講師）立命館大学衣笠総合研究機構

専門研究員 飯田 奈美子 氏

※講義に引き続き、ケーススタディ及びワークショップを実施

出席者数：14名

## (2) OFIXボランティア登録制度の運営

### ① OFIXボランティア登録・派遣制度の運営

OFIXボランティア登録制度を運営し、OFIX事業のほか、公共団体等からの依頼に応じて語学ボランティアを派遣した。

<登録ボランティア数（令和5年3月末現在）及び活動実績>

登録者数 414名 活動件数 74件 派遣人数 152名

### ② 外国人相談等にかかる通訳・翻訳ボランティアの活動促進

コミュニティ通訳ボランティア研修

OFIXボランティアを対象として、ボランティア制度や活動先について、またコミュニティ通訳についてなど、外部より講師を招き、研修を実施した。

実施日：令和4年12月9日（金）

場 所：マイドームおおさか 8階 第3会議室会議室

テーマ：「2022年度コミュニティ通訳ボランティア研修」

講 師：大阪府吹田子ども家庭センター 企画調整課 総括主査 田村 栄次氏

公益財団法人 箕面市国際交流協会 事務局次長兼総務課長 岩城 あすか氏

金城学院大学 文学部 英語英米文化学科 教授 水野 真木子氏

参加者：24名

### ③ OFIX災害時通訳・翻訳ボランティア制度の運営

近畿地域国際化協会連絡協議会が実施する「災害時外国人支援ネットワーク」の取り組みに基づき、OFIX災害時通訳・翻訳ボランティア登録制度を運営した。

登録ボランティア数：285名（内、新規登録者 101名／令和5年3月末現在）

#### (ア) 災害時通訳・翻訳ボランティアを対象にした研修

大阪府内に在住されている外国人が安心して暮らせるように多言語支援の一環として、外国語通訳・翻訳ボランティアの人材育成のため、外部講師を招き、研修を実施した。

実施日：令和5年3月4日（土）

場所：マイドームおおさか 8階 第3会議室会議室

内容：講義「災害時における多言語支援活動とは何か」、他ワークショップ等

講師：時光氏

参加者：11人

#### (イ) 大学、大阪府との三者協定の締結による連携強化

当財団と桃山学院大学、大阪府の間で、災害時通訳・翻訳ボランティアの確保等に係る連携に関する協定書を締結（令和4年4月28日）し、同学の留学生向けに災害時通訳・翻訳ボランティア説明会及び研修会を行った。

- ・災害時通訳・翻訳ボランティア説明会

実施日：令和4年9月29日（木）

参加者：15名

- ・災害時通訳・翻訳ボランティア研修会

実施日：令和4年11月29日（火）

参加者：18名

### ④ ウクライナ避難民通訳支援人材バンク制度の運用

ウクライナからの避難民が安心して滞在できるようウクライナ語またはロシア語の通訳ボランティアの募集を行うとともに、公共団体等への言語支援を実施した。

また生活等の相談を受付ける「ウクライナ避難民ワンストップ相談窓口」を設置した。

人材バンク登録者数 221名 活動件数 47件 活動人数 68名

## (3) 多言語情報提供の支援

行政機関や公的団体等による多言語による情報提供を支援するため、通訳・翻訳サービスを提供した。

## (4) やさしい日本語の普及

「やさしい日本語」を災害時だけでなく平時にも応用することで、より多くの外国人の方にとって分かりやすい情報提供を行うことをめざし、大阪府や府内の市町村、国際化協会等を対象としたネットワーク会議及び研修を実施した。



## やさしい日本語ネットワーク会議

実施日：令和4年11月24日（木）

場 所：オンライン（Zoom）

内 容：生野区役所やさしい日本語の取組み紹介

講 師：大阪市生野区役所企画総務課 上林 政俊氏

参加者：55人

### ① やさしい日本語研修

#### <第1回やさしい日本語研修会（基礎編）>

実施日：令和4年9月15日（木）

形 式：オンライン（Zoom）

講 師：「やさしい日本語」有志の会 杉本 篤子氏

参加者：47人

#### <第2回やさしい日本語研修会（災害編）>

実施日：令和5年2月9日（木）

形 式：ハイブリッド開催（オンラインと対面）とアーカイブ配信

会 場：マイドームおおさか

講 師：神戸YWCA 派遣講師 水野 マリ子氏

参加者：54人

#### <第3回やさしい日本語研修会（職場編）>

実施日：令和5年2月28日（火）

形 式：ハイブリッド開催（オンラインと対面）とアーカイブ配信

会 場：マイドームおおさか

講 師：チーム「やさしい日本語」 福田 一也氏、岸本 美津子氏、畑中 英理子氏

参加者：97人

## (5) 災害時外国人支援体制の確立

### ① 災害時外国人支援体制の確立

#### (ア) 市町村国際交流協会との連携等

##### a) 市町村災害事業支援

防災力の鍵となる地域連携及び地域に根差した災害時外国人支援を推進し、さらなる地域力・防災力の向上をめざして、市町村とともに共催事業を実施した。

テ ー マ：外国人のための防災教室

実施日：令和5年3月11日（土）

場 所：守口市役所 1階 会議室 103号室・104号室

主 催：守口市、大阪府国際交流財団

参加者数：14名

##### b) 大阪府域における災害時の外国人支援体制づくり

大阪府域の市町村・国際交流協会間の連携やネットワークの強化を目的に、「大阪府災害時外国人支援ネットワーク会議」（オンライン）を開催し、研修や情報交換を行った。

<第1回> ウクライナ避難民対応から学ぶ被災者受け入れ体制について

実施日：令和5年3月16日（木）

内容：講義及び事例共有

講師：（一財）ダイバーシティ研究所 代表理事 田村 太郎氏

参加団体：10 団体

<第2回> ウクライナ避難民対応から学ぶ通訳・翻訳支援について

実施日：令和5年3月23日（木）

内容：（公財）兵庫県国際交流協会、（公財）大阪国際交流センター及び当財団による事例発表  
とパネルディスカッション

ファシリテーター：（一財）ダイバーシティ研究所 代表理事 田村 太郎氏

参加団体：8 団体

（イ）大阪府災害時多言語支援センター設置・運営訓練

《訓練》

実施日：令和5年1月17日（火）

場所：マイドームおおさか

内容：大阪府が実施する南海トラフ巨大地震を想定した令和4年度大阪府地震・津波災害対策訓練に合わせ、主に多言語情報発信中心とした大阪府災害時多言語支援センター設置・運営訓練を実施した。

《意見交換会》

実施日：令和5年3月7日（火）

内容：行政との協定に基づき在住外国人等への多言語支援を実施することとしている国際化協会（大阪府、大阪市、豊中市、八尾市）間で、各多言語支援センターの活動状況や災害時の相互支援体制の構築等について意見交換を行った。

## （6）大阪府災害多言語情報ウェブサイト・アプリ「Osaka Safe Travels」の運営

大阪府災害多言語情報ウェブサイト・アプリの開発・運営（大阪府受託事業）

- ・災害時に外国人が必要な災害や交通等の情報を多言語（12言語）で一元的に発信するウェブサイト・アプリ「Osaka Safe Travels」の運営及び機能の充実を図った。

## （7）大阪府堺留学生会館オリオン寮の運営・活用

大阪府堺留学生会館オリオン寮の運営及び活用事業

海外から大阪への留学の促進を図るため、大阪府堺留学生会館オリオン寮（85室）を運営した。（平均入居率 82.0%）

共用部の空調設備更新工事を実施するとともに、居室内の備品（カーテン、ベッド（一部））の更新を行った。

また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で入居者数が例年より少なくなったものの居室使用料を改定することにより、安定的な事業収入を確保することができた。

その他、入居留学生を対象とした寮生間交流会を実施した。

※例年実施していた地域住民との交流会は新型コロナウイルス感染症対策の一環として、実施を見合わせた。

・寮生間交流会

実施日：令和4年8月6日（土）

場 所：大阪府堺留学生会館オリオン寮

参加者：オリオン寮生 計 19 名

## 2. 国際交流情報の収集及び発信

### (1) OFIX広報促進事業

OFIX事業紹介のプロモーション動画「大阪で暮らすならOFIX」を制作した。大阪府外国人情報コーナーでの相談対応や国際理解教育外国人サポーター活動、また大阪府堺留学生会館オリオン寮にスポットを当て、大阪在住の外国人の支援と多文化共生の事業について紹介した。

〈放送期間〉

ケーブルテレビ（J：COM）にて令和5年1月～3月まで放送（※エリアにより放送時間が異なる）、OFIXの公式YouTubeチャンネルで継続掲載

〈動画のあらすじ〉

大阪出身の母親とインド出身の父親三人家族で大阪に引っ越したハリシャ（主人公）は日本語ができないので父のインド料理店を手伝いながら寂しい日々を送っていた。ある日、お店に来たオリオン寮の留学生からOFIXを紹介される。日本語教室や外国人サポーター活動などを知り、OFIXがきっかけで日本語を学びながら家族みんなが明るくなっていく。大阪で暮らす外国人家族のハートフルな物語。

### (2) 多文化共生連携センターの運営

府内の市町村や国際化協会等が打合せや情報交換等の場として利用できる「多文化共生連携センター」（財団事務所内）を運営した。

### (3) OFIXホームページ・SNSの運営

#### ① OFIXホームページ

災害多言語情報ウェブサイトとの連動を図りつつ、財団事業や他団体との共催事業・連携情報をホームページで発信した。

年間アクセス件数：セッション数 78,186 件、ページビュー数 154,807 件

#### ② OFIXフェイスブック

OFIXフェイスブックにおいて、財団事業や他団体との共催事業・連携に関する最新の情報を多言語で配信した。

年間掲載件数：90 件

#### ③ OFIXツイッター

より多方面で財団事業や他団体との共催事業・連携に関する最新の情報を発信するために、令和4年9月より公式ツイッターを開設し、多言語で配信した。

年間掲載件数：69 件

#### (4) OFIXニュースの発行

##### ① OFIXニュース

OFIXニュース（日本語、英語）を印刷版と配信版（メールマガジン）で定期的に発行した。PRイベント時や賛助会員勧誘時のツールとして積極的に活用した。

発行回数：4回（100・101・102・103号）

発行部数：印刷版561部（101号以降はオンライン及びメール配信に変更のため、前年比部数減）  
配信数 延べ18,971件（1回平均2,371件）

##### ② その他の広報ツール

企業や大学等に当財団の事業を広くPRするため、OFIXパンフレットやリーフレットを広く配布するとともに報道機関への働きかけも行った。

また、財団事務所内において、多文化共生等の資料を配架する「OFIXプラザ」を運営するなど、情報提供を行った。

#### (5) 民間国際交流団体等の活動促進

##### ① 近畿地域国際化協会連絡協議会との連携促進

近畿地域国際化協会連絡協議会に参画し、近畿の府県・政令市の地域国際化協会との連携を図った。

また、災害時に相互にコーディネーター及び通訳の派遣や翻訳支援を行うため、同協議会において「災害時における外国人支援ネットワークに関する協定書」を締結しており、同協議会と共催で研修会「水害における災害時多言語支援センター開設・運営を考える」や遠隔による災害時多言語支援センター運営訓練などに取り組んだ。

##### ② 関西国際交流ボランティアネットワーク会議（KIV・NET）への参画

関西における国際交流ボランティア活動の発展・振興に寄与することを目的に設立（平成8年3月）されたKIV・NETに参画。

会員数：58団体（令和4年度事務局：大阪府国際交流財団）

##### ③ 市町村国際交流協会等との連携促進

(ア) 大阪府域国際交流協会 オンライン情報交換会の実施

大阪府域の国際交流協会間で情報交換や知識共有を行い、各協会間の連携を深め、多文化共生事業の向上に資することを目的として、実施した。

テーマ：こども事業

実施日：令和4年7月28日（土）

参加団体数：9団体

(イ) 国際交流協会ネットワークおおさかへの参画

市町村国際交流協会を中心とした幅広い関係者を含めて、多文化共生や在住外国人支援に関連した取り組みを実施した。

構成団体：（公財）大阪国際交流センター、（公財）とよなか国際交流協会、（特活）とんだばやし国際交流協会、（公財）吹田市国際交流協会、（公財）箕面市国際交流協会、池田市、和泉市

オブザーバー：大阪府、堺市、(特活) 多文化共生マネージャー全国協議会

(a) 相談員向け研修会

日時：令和4年7月14日(木)

内容：「対人援助の基礎について」

講師：大阪府立大学名誉教授 山中 京子氏

(b) シンポジウム～難民・避難民受入について考える～

日時：令和5年2月7日(火) 午後1時30分～午後5時

場所：大阪国際交流センター

パネリスト：(特活) 神戸定住外国人支援センター 理事長 金 宣吉氏

(一社) 反貧困ネットワーク 外国人支援担当理事 原 文次郎氏

カトリック大阪教区社会活動センター・シナピス事務局 ビスカルド 篤子氏

(公財)大阪国際交流センター 常務理事 梅元 理恵氏

ファシリテーター：(公財) 箕面市国際交流協会 事務局次長兼総務課長 岩城 あすか氏

パネルディスカッション後、グループトークと振り返りを行う。

(c) 合同インターンシップ

相談事業のマネジメントに関する情報交換会

日時：令和4年6月14日(火)

場所：(公財) 大阪国際交流センター

(d) 大阪府弁護士会との連携

弁護士による外国人相談に係る研修会の実施

日時：令和4年11月15日(火)

場所：(公財) 大阪国際交流センター

内容：「大阪弁護士会及び法テラスの取り組みについて」

「日本の外国人施策・入管の動向」

テーマ別 グループディスカッション

(A 弁護士との連携 B 外国人施策 C ケーススタディ)

### 3. グローバル人材の育成・活用

#### (1) 国際理解教育の展開

##### OFIX国際理解教育外国人サポーターの育成・派遣

府内学校の児童・生徒の外国への関心と様々な国についての理解の促進を目的として、OFIX国際理解教育外国人サポーターとして登録している外国人留学生などを、府内学校等で行う国際理解教育授業の講師として派遣するとともに、サポーターが参加・活躍できる交流会を実施した。

##### (ア) OFIX国際理解教育外国人サポーターの派遣実績

108校(延べ179校) 対象児童・生徒数: 8,763名 サポーター派遣人数: 延べ232名

##### (イ) 第1回OFIX交流会、クイズ大会

実施日: 令和4年7月30日(土)

方式: オンライン方式による開催

参加者: 12名

##### (ウ) 第2回OFIX交流会、多文化ゲーム大会

実施日: 令和4年11月19日(土)

場所: 吹田市立千里山コミュニティセンター

参加者: 26名

##### (エ) ふれあい交流祭り

実施日: 令和4年11月23日(水)

場所: 国際交流基金関西国際センター

参加者: 384名

##### (オ) 第3回OFIX交流会、料理教室

実施日: 令和5年1月29日(日)

場所: 住吉区民センター

参加者: 14名

##### (カ) 国際理解講座ワークショップ(枚方市)

実施日: 令和4年3月30日(木)

場所: ひらかたサンプルザ3号館

参加者: 6名

令和4年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和5年5月

公益財団法人 大阪府国際交流財団